

第1学年 社会科学習指導案

研究テーマ

他者と協働で考察しながら根拠をもとに自分の考えをもつ力を高める授業の工夫

単元を通して育成したい子どもの姿

課題解決に向け、他者も交えて協動的に取り組みながら、自分の考えや思いを表現する姿

1 単元名 武士政権の成立

2 単元の目標

- (1) 武家政権の成立とその背景や特色、武家政権の展開について理解し、鎌倉文化の特徴とともにその基礎的な知識を身に付けている。 [知識及び技能]
- (2) 鎌倉幕府の成立や政策とその背景、武家社会の特徴などについて、資料に基づいて適切に考察している。 [思考力、判断力、表現力等]
- (3) 武家政権の成立とその後の展開について関心をもち、その特徴を意欲的に追究しようとしている。 [学びに向かう力]

3 単元について

本学級は、歴史に関心がある生徒が多い。また、学習課題を自分事として考え、小集団の中で活発に意見交換ができる生徒が多い。今回の授業でも、御家人の立場を理解して、協働で考えさせ、根拠をもとに自分の考えを説明できるようにしたい。

この単元は学習指導要領の歴史的分野の内容(3)「中世の日本」にあたり、武士の登場から武士の台頭、武家政権の成立と鎌倉時代における武家社会のその後の展開を扱っている。第1次では、これまで学習してきた平安時代の摂関政治の中から武士が登場する土壌が形成され、その武士の活躍によって古代の天皇や貴族を中心とした政治体制が崩壊し、武士を中心とした中世社会に移行するという歴史的に非常に大きな転換期となることについて、年表や戦乱を通して、時代の流れと政治権力の変遷を自分のことばで表現できるようにする。第2次では、武士の支配から再び上皇中心の政治体制を取り戻そうという動きについて、御家人の立場から考えさせ、承久の乱後の武家政権の確立を説明できるようにさせる。第3次では、鎌倉幕府のもとでは社会が安定し、農業に牛馬や鉄製の農具、草木灰などが使われることにより、農業が発達し、二毛作なども行われるようになった。工業の発達により、定期市なども開かれるようになった。武士や民衆の成長とともに、文化の面での新しい動きが起こり、新しい仏教の宗派や彫刻作品、文学、建築様式が現れた。このように、この単元では、古代の天皇や貴族の政治との違いに着目させながら、武士が成長していく様子を中心に歴史の流れを捉えさせる。

指導にあたっては、ICTを使い、生徒の興味・関心を引き出しながら、鎌倉幕府のしくみや承久の乱の経過を通して武家政権が次第に全国支配していく様子を捉えさせたい。

4 単元計画（全6時間）

次	時	・学習活動(目指す子どもの姿)	※評価規準
第1次	1	・平安末期に武士が登場し、どのように勢力を広げたかを戦乱を通して考える。	※武士が次第に勢力を広げたことを、地方や都で起きた戦乱と関連付けて考察し、表現している。 〔思考・判断・表現〕
	2	・平氏がどのような政治を行ったかを摂関政治と比較して考察し、表現することができる。 ・保元の乱、平治の乱、源義経の平氏討伐を通して、源平の争乱の経過と平氏政権の特色を理解する。	※源義経などの人物を中心に、源平合戦の経過や院政、平氏政権の特色について理解している。 〔知識・理解〕
第2次	3	・鎌倉幕府の特色について、主従制度や幕府の組織、執権政治の内容を理解する。	※武家社会の御恩と奉公の関係性や鎌倉幕府のしくみについて理解することが出来る 〔知識・理解〕
	4 本時	・承久の乱について、幕府と朝廷の勢力関係を御家人の立場に立って考える。また、承久の乱以後の武家政権の拡大について自分のことばで表現する	※承久の乱において、御家人の立場に立って考えようとしていたか。 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ※承久の乱以後の幕府勢力拡大と歴史的意義について根拠をもって表現することができる。 〔思考・判断・表現〕
第3次	5	・鎌倉時代の武士や庶民の生活について、地頭や産業に着目して考察し、表現する。	※鎌倉時代の武士や庶民の生活について、地頭による荘園支配や、定期市などの産業の発達と関連付けて考察し、表現している。 〔思考・判断・表現〕
	6	・鎌倉時代の文化や宗教の特色について、これまでの時代との違いに着目して考察し、表現する。	※鎌倉時代の文化や宗教の特色について、文化の担い手の変化に関連付けて考察し、表現している。 〔思考・判断・表現〕

5 本時の研究の視点

【社会的事象を自分事としてとらえる課題の工夫】

- 御家人の立場から課題追究できるようにする。

【協動的に取り組ませる学習形態の工夫】

- 班を一つの武士団と見立てて考えさせるようにする。

【振り返りのできる板書の工夫】

- 学習内容が一目でつかめるような構造的な板書を作る。

6 本時で働かせる見方・考え方

平安時代まで続いてきた朝廷による政治から、鎌倉幕府が開かれ、時代は武家政権になっていく。幕府内でも、源氏政権から北条政権になりかけたところに起きた承久の乱によって、東日本を支配していた鎌倉幕府が朝廷や西日本も支配し、武家政権の基盤をつくった。本時では、鎌倉武士の立場で承久の乱を考え、他者の意見と比較しながら課題追究し、武士の結束の強さや全国支配の仕組みについて捉えさせていきたい。

7 本時のねらい

御家人の立場から、承久の乱について考え、歴史が完全に武家政権に移行していくことを根拠をもとに表現できる。

8 学習過程（4／6）

学習内容・活動	時間	◇教師の支援 ※評価
<p>1 前時の確認をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 幕府の組織 ○ 御恩と奉公 ○ 執権政治 <p>2 課題の確認</p>	<p>3</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 様々な役職に御家人があてられていること幕府の勢力範囲が東日本であることを確認する。 ◇ 将軍(源氏)と御家人の主従関係が強いことを確認する。 ◇ 源氏が三代で途絶えたことに触れる。 ◇ 北条氏がいち御家人であることを確認する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>源氏が三代でとだえた後、鎌倉幕府はどうなっていくだろうか。御家人の立場から考えよう。</p> </div>	<p>2</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 課題追究の見通しを確認させる
<p>3 承久の乱で幕府につくか、朝廷につくかを考える。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 後鳥羽上皇の命令を確認する。 (2) 自分が御家人だったら朝廷と幕府のどちらについていくか、理由をつけて考える。 (3) 各班、初期発表をする。 (4) ビデオ資料を見て、班の意見を再考する。 (5) 各班、中間発表をする。 (6) 北条政子の演説を見て、班の最終意見をまとめる。 (7) 各班、最終発表する。 	<p>20</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 当時の御家人の立場を踏まえて考えさせる(視点1・2) ◇ 源氏が三代で途絶えた後、後鳥羽上皇が政権を取り戻そうとしていることを確認する。 ◇ まなボード(ホワイトボード)を使い、考えの変化が分かるように記入させる。 ◇ 班の決定には理由づけさせる。 ◇ ビデオの中に出てくる、御家人のアンケートや幕府・朝廷の勢力図から考えさせる。 ◇ 当時の御家人になったつもりで、演説を聞かせる。 ※ 当時の御家人になったつもりで、班での話し合いを多面的・多角的に考えられているか。(学びに向かう意欲)
<p>4 承久の乱の結果から、その後の幕府や御家人の地位を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 結果⇒幕府が勝利する。 ○ 西日本に新たに地頭が設置される。 ○ 六波羅探題を設置され、朝廷と西日本の監視が強化される。上皇は島流し。 ○ 御成敗式目が作られる。 	<p>15</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇教科書の資料や資料集から考えさせる。 ◇幕府や御家人の立場と朝廷の立場を比較して考えさせる ◇御家人への影響を考えさせ、執権政治が強くなっていくことに気付かせる。
<p>6 まとめと振り返り</p> <p>自分のノートにまとめと振り返りを文章で書く。</p> <p><まとめ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 承久の乱で勝利したことにより、幕府は朝廷や西日本まで勢力を伸ばした。 ・ 承久の乱以後の執権政治は武家政権の基本となった。 <p><振り返り></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当時の御家人にとって、どちらにつくかはすごく難しい選択だったのではないか。 ・ 御家人の忠誠心はすごいと実感した。 ・ 勝ったから、御家人は御恩がたくさんもらえ、北条氏への信頼が高まったのではないか。 ・ 間違いなく、北条政子が歴史を作った。 	<p>10</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 板書を見ながら本時のまとめと振り返りができるようにする。(視点3) ◇ 振り返りの視点を与え、単なる感想にならないように留意する。(な・が・と・も) ※ 武家政権が日本の政治の中心になっていく様子を承久の乱の結果と関連付けて表現することができる。(表現)